

# 地元の食材を食べて、

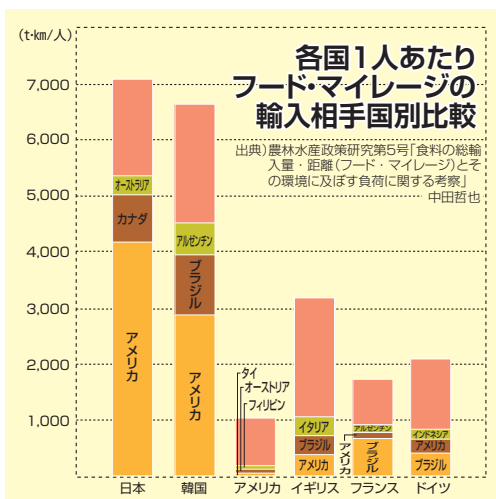
# 温室効果ガスを減らそう！

先月号から掲載している地球温暖化対策シリーズの第2弾。今回は、「フード・マイレージ」についてです。

地球温暖化対策は、家庭でも取り組むことができます。より良い地球環境を次代に残せるように、市民の皆さんもできることから取り組みましょう。



表①



は、グラフにない他の国からの1人あたりのフード・マイレージを足し合わせたものです。  
 出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

**【フード・マイレージ計算方法】**

フード・マイレージ (t・km) = 輸入相手国別の食料輸入量 (t) × 輸出国から日本までの輸送距離 (km)  
 ※輸送距離 = 各国の首都と東京をつないだ直線距離

あまり聞きなれない言葉ですが、食卓やお店等に並んでいる食材がどこからどれだけ運ばれてき

表①のとおり、日本は他の国よりも1人当たりのフード・マイレージの数値が高くなっています。この

家庭内で温室効果ガスを減らす取組には、エアコンの設定温度を28度にした

たかを示す「フード・マイレージ」という言葉を、皆さんご存知でしょうか。これは、生産地と消費地の距離が遠ければ遠いほど、多くのエネルギーが消費され

【問い合わせ先】  
 市生活環境課  
 0994-31-1115

ことから食料自給率の低さもうかがえます。この数値を少しでも減らし、自給率を上げる家庭内での取組の一つに「地産地消」があります。  
 地元で取れた物を地元で消費することは、フード・マイレージの数値を減らすだけでなく、生産地と消費地の距離が近い